

公益財団法人 日本サッカー協会
2019年度 第6回理事会

決議事項

1. 第16回日本サッカー殿堂 投票選考による候補者名簿の件

第16回日本サッカー殿堂掲額対象者に、殿堂委員会から以下の通り推薦があった。

- (1) 投票部門（該当者なし）
- (2) 特別選考（推薦）部門（3名）

特別選考の候補者として、以下3名の推薦があった。

● 西野 朗（にしの あきら）

1955年生まれ、埼玉県出身。1994年よりオリンピックを目指す日本代表監督就任し、28年ぶりとなるオリンピック本大会の出場を果たす。1996年アトランタオリンピックではグループリーグでブラジルを破る“マイアミの奇跡”を起こした。J1リーグでは4クラブのトップチームの監督を歴任し、通算勝利数270勝の歴代1位。2002年からガンバ大阪を率い、2008年のAFCチャンピオンズリーグで優勝。アジア王者として出場したFIFAクラブワールドカップでは3位となった。2016年にJFA技術委員長に就任。FIFAワールドカップロシア2018では、大会2カ月前に急きょ日本代表監督に就き、グループリーグを勝ち抜いて日本サッカー史上3度目のベスト16に進出した。2000年、2005年にJリーグ最優秀監督賞、2008年にAFC最優秀監督賞を受賞。

● 岡田 武史（おかだ たけし）

1956年生まれ、大阪府出身。1997年日本代表コーチのときに加茂周監督の後を引き継ぎ、日本代表をFIFAワールドカップ（フランス）初出場に導いた。その後、J2のコンサドーレ札幌の監督としてJ1昇格、横浜F・マリノスをJ1優勝へ導くなど指導者としての手腕を発揮。2007年には再び日本代表監督に就任した。監督として2回目の挑戦となった2010 FIFAワールドカップ南アフリカではグループリーグを突破し、2002年大会に次ぐベスト16を果たす。同年のAFC最優秀監督賞を受賞した。2012年には中国スーパーリーグの杭州绿城を指揮。2014年には地域リーグのFC今治のオーナーとなり、運営会社の株式会社今治夢スポーツの代表取締役会長を務める。また、JFAでは理事、副会長を歴任し、2018年にシニア・アドバイザーに就任した。

● 佐々木則夫（ささき のりお）

1958年生まれ、山形県出身。2007年になでしこジャパン（日本女子代表）の監督に就任。2008年の東アジア女子サッカー選手権（現、EAFF E-1サッカー選手権決勝大会）で日本女子代表史上初のタイトルを獲得。同年の北京オリンピックでは準決勝に進出し、初の世界大会4位。2011年のFIFA女子ワールドカップ（ドイツ）ではなでしこジャパンを世界一に導き、なでしこジャパンとして国民栄誉賞と紫綬褒章の榮譽に浴した。同年、同氏はまた、文部科学省スポーツ功労賞等を受賞。2011年度のFIFAバロンドールでは、女子年間最優秀監督賞を受賞した。2012年のロンドンオリンピックでは、日本サッカー界初の銀メダルを獲得し、連覇を目指した2015年FIFA女子ワールドカップでもチームをファイナリストに導き、なでしこジャパンを世界の強豪国へと育て上げた。

- (3) スケジュール

2019年9月10日（火） 第16回殿堂掲額式典・レセプション

2. 施設委員会委員交代・追加の件

施設委員会の委員を以下の通り交代・追加したい。

<交代>

現) 種田 哲智 (おいだ てつじ)

一般財団法人カケンテストセンター

新) 大歳 文雄 (おおとし ふみお)

一般財団法人カケンテストセンター

※一般財団法人カケンテストセンター内の担当者変更のため

<追加>

(1) 上田栄治 (うえだ えいじ)

所属: 株式会社Jヴィレッジ 代表取締役副社長

公益財団法人日本サッカー協会 理事

(2) 藤縄 雅敬 (ふじなわ まさゆき)

所属: 株式会社ジャパンフットボールマーチャンダイズ 代表取締役社長

(J-GREEN 堺 指定管理者「ジェイズパークグループ」代表団体)

(3) 酒井 政幸 (さかい まさゆき)

所属: 公益財団法人静岡市まちづくり公社 事業部 健康スポーツ課長

(J-STEP 指定管理者)

3. 復興支援委員会委員変更の件

技術委員会推薦の復興支援委員会委員を以下の通り交代したい。

現) 山口 隆文 (やまぐち たかふみ)

前復興支援委員会 委員

新) 鈴木 淳 (すずき じゅん)

技術委員会 副委員長

※山口隆文氏の技術委員会委員退任に伴う変更